



2015年 医学部 第2問

1枚目 / 2枚

数理
石井K

2 関数 $f(x) = x^3 + a_1x^2 + a_2x + a_3$ について、次の間に答えよ。ただし、 a_1, a_2, a_3 は負の実数とする。

(1) $f'(x) = 0$ は正の実数解と負の実数解を1つずつもつことを示せ。

$f'(x) = 0$ の正の実数解を α 、負の実数解を β とおくと、 $-\alpha < \beta$ を示せ。

(2) $f(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つであることを示せ。

(3) $f(x) + f(-x) < 0$ を示せ。

(4) $f(x) = 0$ の正の実数解を p とおく。 $x \leq -p$ のとき、 $f(x) < 0$ を示せ。

(5) b_1, b_2, b_3, b_4 を負の実数とする。関数 $g(x) = x^4 + b_1x^3 + b_2x^2 + b_3x + b_4$ に対し、 $g(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つであることを示せ。 $x < 0$ のとき、 $g(x) - g(-x) > 0$ を示せ。 $g(x) = 0$ の正の実数解を q とおく。 $x \leq -q$ のとき、 $g(x) > 0$ を示せ。

(1) $f'(x) = 3x^2 + 2a_1x + a_2$

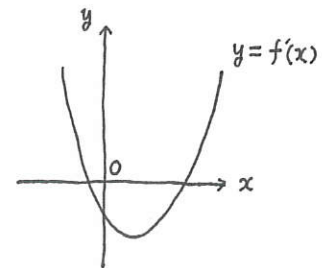
$f'(x) = 0$ の判別式を D とおくと

$$D = a_1^2 - 3a_2 > 0 \quad (\because a_2 < 0)$$

よって、 $f'(x) = 0$ は異なる2つの実数解をもつ

また、 $f'(0) = a_2 < 0$ ($\because a_2 < 0$) であることから

$y = f'(x)$ のグラフは右のようになる。



$\therefore f'(x) = 0$ は正の実数解と負の実数解を1つずつもつ \square

次に、軸の方程式は、 a_1 を用いて、 $x = -\frac{a_1}{2} > 0$ ($\because a_1 < 0$) であり、

これは、 α, β を用いると、 $x = \frac{\alpha + \beta}{2}$ となるので、 $\alpha + \beta > 0$ すなわち、 $-\alpha < \beta$ \square

(2) (1) より、増減表は右のようになる

$$\begin{cases} \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty \text{ より グラフは右下のようになる。} \\ f(0) = a_3 < 0 \end{cases}$$

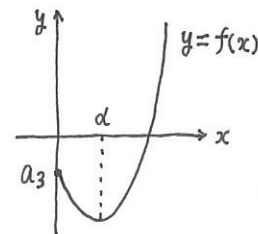
x	0	...	α	...
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$	a_3	↓		↑

$\therefore f(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つである \square

$$\begin{aligned} (3) f(x) + f(-x) &= x^3 + a_1x^2 + a_2x + a_3 + (-x)^3 + a_1(-x)^2 + a_2(-x) + a_3 \\ &= 2a_1x^2 + 2a_3 \end{aligned}$$

ここで、 $2a_1x^2 < 0$ 、 $2a_3 < 0$ ($\because a_1, a_3 < 0$) であるから、

$$f(x) + f(-x) < 0 \quad \square$$



2枚目へつづく



2015年 医学部 第2問

2枚目/2枚

2 関数 $f(x) = x^3 + a_1x^2 + a_2x + a_3$ について、次の間に答えよ。ただし、 a_1, a_2, a_3 は負の実数とする。

(1) $f'(x) = 0$ は正の実数解と負の実数解を1つずつもつことを示せ。

$f'(x) = 0$ の正の実数解を α 、負の実数解を β とおくと、 $-\alpha < \beta$ を示せ。

(2) $f(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つであることを示せ。

(3) $f(x) + f(-x) < 0$ を示せ。

(4) $f(x) = 0$ の正の実数解を p とおく。 $x \leq -p$ のとき、 $f(x) < 0$ を示せ。

(5) b_1, b_2, b_3, b_4 を負の実数とする。関数 $g(x) = x^4 + b_1x^3 + b_2x^2 + b_3x + b_4$ に対し、 $g(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つであることを示せ。 $x < 0$ のとき、 $g(x) - g(-x) > 0$ を示せ。 $g(x) = 0$ の正の実数解を q とおく。 $x \leq -q$ のとき、 $g(x) > 0$ を示せ。

(4) (2) のグラフより、 $x \geq p$ において $f(x) \geq 0$

ここで、 $t = -x$ とおくと、 $-t \geq p$ において、 $f(-t) \geq 0$

すなわち、 $t \leq -p$ において、 $f(-t) \geq 0 \dots \textcircled{1}$

また、(3) より、 $f(t) + f(-t) < 0 \iff f(t) < -f(-t) \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より、 $x \leq -p$ のとき、 $f(x) < -f(-x) \leq 0$ すなわち $f(x) < 0$ \square

(5) $g'(x) = 4x^3 + 3b_1x^2 + 2b_2x + b_3$

$$= 4\left(x^3 + \frac{3}{4}b_1x^2 + \frac{1}{2}b_2x + \frac{1}{4}b_3\right)$$

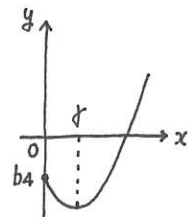
$\therefore a_1 = \frac{3}{4}b_1, a_2 = \frac{1}{2}b_2, a_3 = \frac{1}{4}b_3$ とすると、 $a_1, a_2, a_3 < 0$ となり、(1)~(3)の結果が利用できる。

(2) より、 $g'(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つである。この解を q とする

$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = \infty, g(0) = b_4 < 0$ と右の増減表より

$g(x) = 0$ の正の実数解は、ただ1つである \square

x	0	...	q	...
$g'(x)$		-	0	+
$g(x)$	b_4	\searrow		\nearrow



$g(-x) = x^4 - b_1x^3 + b_2x^2 - b_3x + b_4$ より、

$$g(x) - g(-x) = 2b_1x^3 + 2b_3x = 2x(b_1x^2 + b_3)$$

$x < 0$ のとき、 $b_1x^2 + b_3 < 0$ ($\because b_1, b_3 < 0$) であるから、 $g(x) - g(-x) > 0$ \square

グラフより、 $x \geq q$ において、 $g(x) \geq 0$

ここで、 $t = -x$ とおくと、 $t \leq -q$ において、 $g(-t) \geq 0 \dots \textcircled{3}$

$g(x) - g(-x) > 0$ より、 $g(t) > g(-t) \dots \textcircled{4}$

$\textcircled{3}, \textcircled{4}$ より、 $x \leq -q$ のとき、 $g(x) > 0$ \square